

**公益社団法人日本補綴歯科学会 診療ガイドライン委員会
パブリックコメントのお願い**

ー光学印象採得（digital scan）を用いた単冠またはブリッジの診療 2025ー

令和 7 年 7 月 4 日
公益社団法人日本補綴歯科学会
理事長 大久保力廣
診療ガイドライン委員会
前委員長 松香芳三
委員長 澤瀬 隆

公益社団法人日本補綴歯科学会
会員各位

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

診療ガイドライン委員会ではこのたび、「光学印象採得（digital scan）を用いた単冠またはブリッジの診療 2025」を作成いたしました。

近年のデジタル技術の急速な進展に伴い、歯科医療においてもデジタルデンティストリーの導入が広がりを見せています。2024 年には、CAD/CAM インレーに対する光学印象採得が保険収載されたことを受け、今後、CAD/CAM 冠をはじめとする他の補綴治療においても光学印象の保険適用が拡大していくことが予想されます。

中でも、固定性補綴装置（クラウン・ブリッジ）に対する光学印象採得の保険収載は、特に早期の実現が望まれる領域と考えられます。
こうした状況を踏まえ、（公社）日本補綴歯科学会では、単冠およびブリッジ製作における光学印象採得の診療指針を取りまとめる運びとなりました。

つきましては、本ガイドライン案の公開に先立ち、会員の皆様から広くご意見（パブリックコメント）を募集いたします。
臨床現場の実情や様々なご見解を反映させるため、忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。ご意見は、7 月 31 日までに事務局（hotetsu-gakkai01@hotmail.org）宛にお願い致します。

謹白